

もりのかせ Vol.13



森を感じる情報誌——Green Page Akita

緑の募金で
ふせごう地球温暖化



公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

いおろす (Aeolus) はギリシア神話に登場する「風の神」であり、豊かな森と妖精を合わせたイメージとして生まれたこの冊子のキャラクターです。

〈CONTENTS〉特集●鳳凰山 森の恵みを生かす／2 緑育REPORT／4 秋田県森の案内人協議会／6
GREEN PAGE AKITA／8 Photographこの一枚／10 あきた・緑化の足跡／11 インフォメーション／12

大館盆地の東に位置する標高520.6mの鳳凰山。山腹にある「大」の字が大館市のシンボルとしてよく知られています。市民の多くが一度は登ったことのある山で、年間を通じて登山客が絶えません。

特集

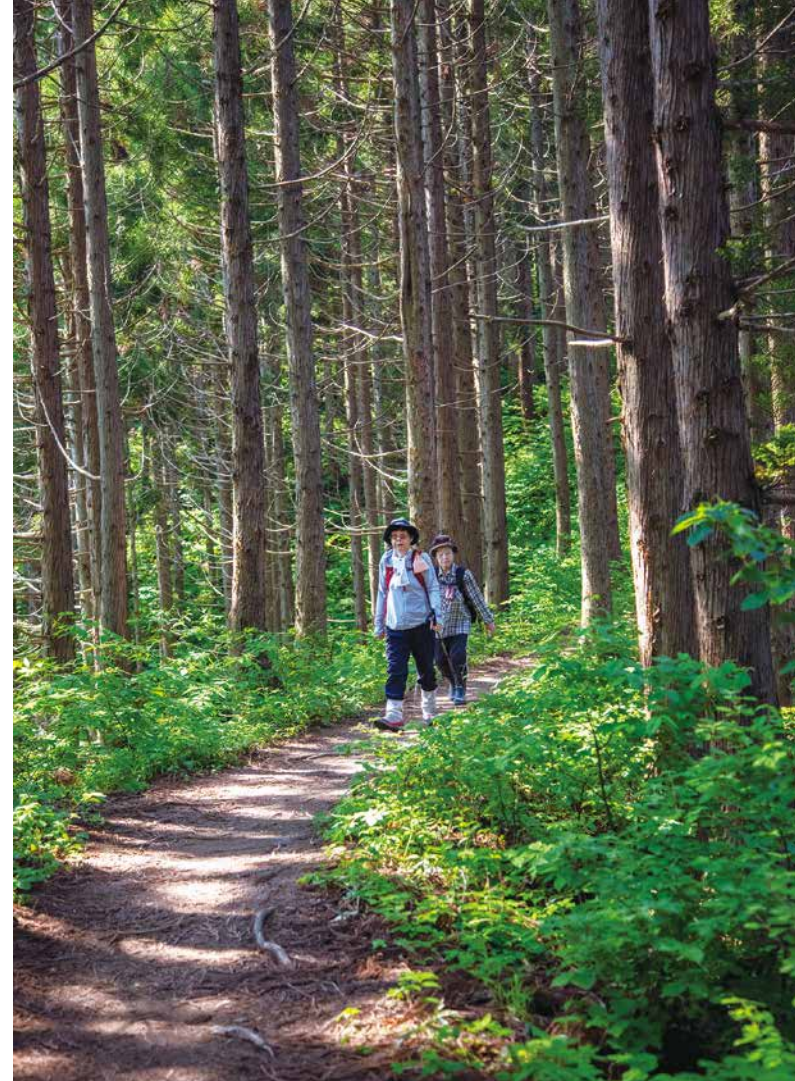
鳳凰山

ほうおうざん



鳳凰山の山名は、室町時代にこの地を治めていた豪族・浅利氏が
 禪寺の鳳凰山玉林寺を建立したことに由来します。
 標高が低く平坦な道が多いことから、登りやすい山として年間
 を通して登山客が絶えない大館市民にこよなく愛される人気の高
 い山です。
 山麓には長根山運動公園や大館少年自然の家、岩神ふれあいの
 森などがあり、スポーツ、ピクニック、自然散策、憩いの場として
 人々に親しまれています。
 鳳凰山へは長根山運動公園駐車場から岩神貯水池を過ぎて登山
 口へ入るのが一般的です。三合目に着くと目前に「大」の字が現れ
 ます。七合目からは急登になり、八合目を過ぎると大文字の展望
 所。市街地が一望、ニプロハチ公ドームや田代岳も望めます。アカ
 マツの茂る山頂は薬師や地蔵尊が祀られ、方位盤や

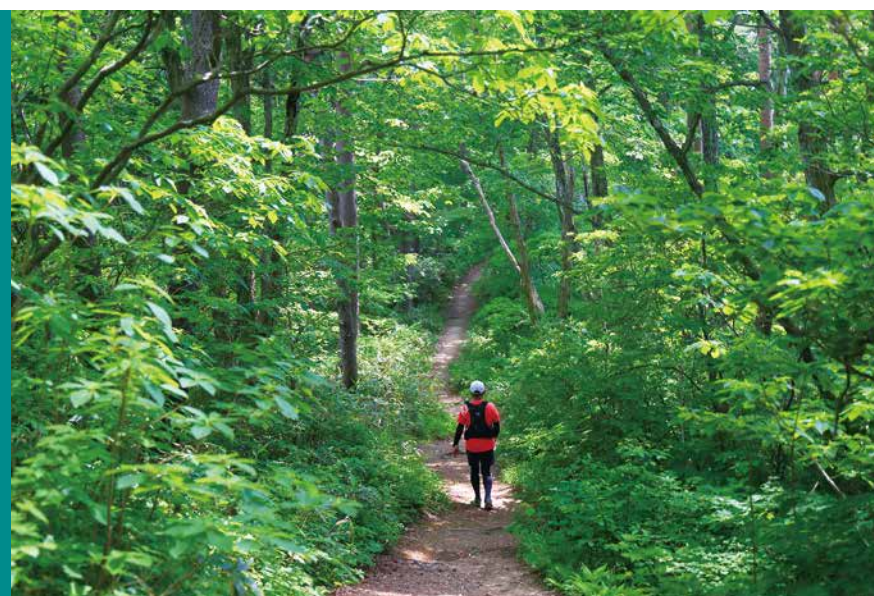
登山適期 4月下旬～11月上旬
【アクセス】
 ● JR奥羽本線大館駅より
 車／長根山運動公園駐車場まで15分
 バス／「ハチ公号」長根山運動公園前下車
 ● 大館北ICより車／7号線経由で15分
 ● 十和田ICより車／103号線経由で30分



木漏れ日美しいスギ木立は平坦で歩きやすい。3合目に出るとシンボル「大」の字が現われる。大文字は、1画目が120m、2画目が180m、3画目が150mあり、全国にある大文字の中でも最大の大きさ。シラネアオイ群落（5月上旬頃）などの山野草にも癒され、頂上からの眺望も素晴らしい魅力たっぷりの山だ。



7合目分岐には山神社が佇む
 山頂からはニプロハチ公ドームをはじめ市街地が望める



広葉樹林の続く道も気持ちが良い。そこかしこで出会う山野草に癒される。



山野草として愛好される「オダマキ」



果実の味が梨に似ていることから命名された「イワナンシ」
 写真提供：佐々木悦子氏（大館市）



葉の姿が破れた傘に似ている「ヤブレガサ」
 写真提供：栗盛民夫氏（大館市）



登山客を魅了する 鳳凰山

「シラネアオイ」
 写真提供：栗盛民夫氏

生まれ故郷で暮らしを営み 創作に励む日々

鹿角市の工房で斧折樺おのせがはの木製品を創作している橋野浩行さん。宮内庁御用達である「靴べら」をはじめ、海外にも認められる作品を創り続けている橋野さんにお話を伺いました。

父の言葉を胸に創作活動

生まれた場所に帰り自由に創作して暮らすことが人の「自然の姿」です。亡き父親からの言葉「手に職を持って」——その意味と価値が身に染みてきた昨今です。帰郷してやっと三十年、生地鹿角において手仕事を続けています。

材料の斧折樺は、北上山系に自生し、非常に堅く、木目の美しい木材ですが、ほとんど採れない貴重な木材です。入



その名の通り、非常に堅い斧折樺

手方法は山林に道路をつくる際に伐られたもの、国有林からの払い下げによるものもあります。また事業をやめてしまふところからの木材を譲り受けて、というのが現状です。

約四十年前にデザインした「靴べら」がデビュー作品であり、広葉樹の活用とプラスチックから木につくり変えたことが日本国内外において影響を与え続けているロングセラーです。宮内庁お買い上げの長い靴べらセットは、これまでにない無いデザインとして、現在の上皇様におかれまして陛下の時代からご使用いただいております。秋田県の植樹祭においてもご使用賜りました作品です。

「ひねり髪すき」は七十年の櫛の歴史を変えたと絶賛され、NY・MADミュージアムのショーウィンドーを飾りました。二〇一八年のグラミーショー受賞会場においてもノミネートのアーティスト達に絶賛されていたとの報告を受けています。

十年間続く ニューヨークでの展示会

「アメリカに日本の音楽を」——。その架け橋をされてきたABE氏のお力と、その思いを引き継がれた現在のプロモーター、Y・SUZUKI氏との出会いで二〇二二年のニューヨーク桜フェスティバルにおいて「アートフォルム・橋野浩行」は現代の工芸として紹介を許され参加し、以来十年間ニューヨークでの展示会を開催して今に至っています。

二〇二二年のニューヨーク桜フェスティバルでは、MADミュージアムの世界のクラフト展でのショーウィンドーを飾り、以後、ジャビッツセンターでのアメリカンアート&クラフトショーに参加、二〇二五年よりアメリカクラフト協会会員となり、NY五番街・KIPTON靴べらセットが店内に飾られています。こうして、創られるモノたちは、世界で活躍するアーティストたちの手に渡り認知度を高めつつあります。

ハングリーな暮らしから 生み出される作品たち

自然豊かな環境と、ハングリーな暮らしの中で考え抜き、新しくデザインする……その繰り返しでひたすら創り続

けています。その苦悩の中、ほっとした一瞬、孤独が親友と気づく時がひらめく時です。厳しい冬を過ごすために暑い夏にその支度に汗をする。モノづくりのアイディアはハングリーな暮らしから生まれ、日常の何気ない時にふと気づくものです。人間本来の創意工夫というものは与えられるものではなく、自らが掴み取ることに醍醐味があるのかもしれない。

これまでは作って売れて嬉しかった。今は特許庁に申請するまで公開しない。オリジナルを貫くことがモノづくりには重要と考えています。

現在、米国連邦政府公認フローレンス・ベルスキー財団の理事として、アメリカと日本の交流に取り組んでいます。パンデミックの昨今は、バーチャルにおいてイベントに参加して交流を深めています。

次世代に引き継ぐその形も新しくデザインしていく醍醐味です。創造への好奇心を大切にしながら日々意見交換をしているところです。



創作は日々、孤独と向き合って……



豊かな自然に囲まれた故郷の工房



「ひねり髪すき」の製作は繊細だ。研ぎ澄まされた指先の感覚で何ミリ削れたかわかるという。



やさしいフォルムのロングセラーの「靴べら」は暮らしに潤いをもたらす。左はオブジェとしてのブーツ。木製品でありながら革の質感が見事に表現され加工技術の高さを感じさせる。



「ひねり髪すき」を手にした橋野さん



洗練されたフォルム「ひねり髪すき」の逸品

プロフィール
はしの ひろゆき
橋野 浩行さん

昭和37年1月、秋田県鹿角市生まれ。平成3年、AKITAアートフォルム設立。平成17年、日本橋高島屋を通じ、宮内庁御用達となる。平成24年、ニューヨーク桜フェスティバルに参加し、以後毎年NYでの展示会開催を続けている。

アートフォルム有限公司
〒018-5421
鹿角市十和田大湯扇ノ平49-3
TEL:0186-37-3323
<http://store.artform.jp/>

緑とともに育つ・育てる

《緑育REPORT》

湯沢市立山田小・中学校

美しい自然に恵まれた秋田県では、古くから学校林等を中心にした森林環境教育が盛んです。緑にふれることによって、子どもたちの環境への理解が深まるとともに、豊かな人間性を育む……そんなすばらしい教育活動を実践している小中学校を紹介するシリーズです。

現在湯沢雄勝管内で学校林のある小・中学校は山田地区の湯沢市立山田小・中学校ほか二校で、学校林の歴史は七十年になります。今回は五月十一日の「森林体験」・六月九日の小・中合同による「植樹活動」・七月二十一日の「木育活動」の一連の森林資源学習活動取材しました。

五月十一日／森林体験

当日、山田中学校で全校生徒が雄勝地域振興局森づくり課の担当職員の方々から森林の働きや役割、木材産業について映像視聴を交えてお話しを聞き、森林についての総合的理解を深めました。

続いて森林の伐採地にバスで移動し森林学習を行いました。前日の雨とは打って変わって当日は晴天に恵まれ、一年生二十九名のほか雄勝地域振興局、雄勝広域森林組合、森の案内人、山田愛林会の皆様にサポートしていただき行われました。

た。土沢集落でバス下車後、森のすがすがしい空気を吸いながら、「森の案内人」さんに道中の植物や森についての説明を受けながら徒歩で1キロ先の学校林に向かいました。

七十一年生の立派に生育した木々を見ながら現場に着くとチェンソーや高性能林業機械の音が森にけたたましく響き渡っていました。

始めに高性能林業機械（ハーベスタ）による作業を見学しました。立木をマシンが木の根元付近からつかんで伐って倒し、枝を払って、丸太にしていきます。一台の機械による一連のこの作業に生徒たちは驚いていました。

チェンソーによって七十一年生の木が地面にパシャーンとダイナミックに倒れていく様子には生徒全員が「オオー」と感嘆の声を上げていました。

次に向かったのが地元で製材業を営む高松製材所です。山で切った丸太が角材

や板材に製材されていく様子を見学しました。

工場はライン化され次々に効率的に製品化され、出荷されていく事を知り、生徒たちはさつき山で見えてきたばかりの木が自分たちの家に使われている柱や板にどのようにして出来ていくのか、その様子を目の当たりにして、納得したようでした。

六月九日／小・中合同植樹

五月の森林体験同様当日も梅雨時であるにもかかわらず好天に恵まれました。山のプロの指導を受けながら小学生と



まず始めにスライド上映や講義で森林の循環について学んだ。



1台で何役もこなす林業機械の働きに圧倒された。



植栽地へ向かう途中、「森の案内人」さんの解説で森林学習。



役割分担をして手際よく作業

伐ったら植える — 「次代へ繋ぐ」を実感

中学生男女合わせて一組(四名位)になり五月に皆伐したエリアに「鍬で地面を掘り起こす人」、「苗を供給する人」、「杉苗を植えこむ人」、「苗を垂直に保ち土を穴に埋め戻す人」と役割分担をして手際よく作業をこなしました。広大な面積を二時間足らずで作業を終え、とても達成感を感じた様子でした。森林は持続可能な資源として「木を伐ったら植える」ということを実感した一日になりました。

七月二十一日／木育活動

この活動では秋田杉のぬくもりを感じながらプランターづくりに励みました。五月の「伐採見学」、六月の「杉苗の植樹・製材所見学」、そしてこの日の「製品づくり」と、森のサイクルと持続可能な森林資源を総合的に学習しました。今年度山田中学校が取り組んでいるYAMACHU SDGsの活動の具体例のひとつとして湯沢市の森林資源をSDGsの観点から学習できたことはとても有意義だったようです。



植樹記念の標柱を設置



YAMACHU SDGs シンボルマーク



秋田杉のプランター



高松製材所様の御協力により、丸太が柱や板になるまでを見学。



森林・林業の楽しさを伝えます

秋田県

森の案内人協議会

Vol.2

「森の案内人」とは、皆さんが林業体験や自然観察などで、森林を学ぼうとするとき、その活動の手助けをするのが「森の案内人」です。「森の案内人」は、森林・林業、森の学び、森遊びなどに熟知しており、独自の育成講習で資格認定を受けて、ボランティア活動を行っています。

私たち秋田県森の案内人は、里山にある樹木の手入れを行って元からある自然の形を維持し、それが人の生活にも役に立っていくようにと長年にわたって保全活動を行っています。

今までは、手の行き届かない小さな里山の杉人工林の下刈りや間伐、また植林などが主体でした。杉用材を生み出す林としてそれは結構重要な事なのです。

恵みある美しい竹林風景

ところで、県内を見渡すと、特に由利本荘地域に孟宗竹の林が広く見受けられます。杉や広葉樹と違った里山風景を作り出しているのです、その山並みのコントラストの美しさは見事です。竹は雪囲いやクラフト製作などに利用したり、タケノコを収穫する楽しみの一つになっています。

良い竹材を生み、良いタケノコを収穫するには竹林がある適度の密度を保つことが大事だと言われ、傘をさして歩ける程度(2m位)の間隔が必要といわれます。また、竹は年齢を増すと光合成による生産性が落ちる事から、定期的な伐採して随時若竹に更新していくことが大事です。

竹林整備活動への参加

最近、この地域ではその対策としてボランティア団体が竹林の整備をすでに行っています。私たち森の案内人も3年

私たちは、チェンソーの得意な人や、重機の運転、クラフト、ロープワーク、炭焼きの得意な人、そして作業の段取りやホームページ作成の得意な人など様々な人材が集まった集団ですので、皆で活動を作り上げていく楽しみもあります。

私たちの竹林整備はまだスタートしたばかりですが、活用できる美しい風景を想像しながら皆で活動していきたいと思っています。こんな活動に興味があつて山仕事もやってみようと思う方は是非仲間になって一緒に活動しましょう。



孟宗竹の生態を学んだり、チェンソー、刈り払い機の安全講習を受けた



里山に美しい風景を作り出す竹林



管理されず荒れ放題の竹林

現地では未整備の林を調査し、雑多に朽ちて倒竹した状態や密生してひ弱な竹林状況を目にしました。そこで、これを何とかしようと竹林整備活動を行いました。また、竹材を使ったクラフトづくりも体験研修しています。タケノコを掘り起こすことも森の整備の一端と考えられています。その収穫した恵みの利用方法も学んでいます。

竹は、地下茎でどんどん増え繁殖していくため、隣の杉林や広葉樹林にも進出していき、それらの植生を奪ってしまう程の勢いです。屋敷畑にも進出し弊害



立ち枯れした広葉樹



整備の合間に掘り起こしたタケノコ



を起しているのです、境界竹林を带状に除去して防ぐ作業もこれから実施していきます。

竹林はその凛とした美しい林、シンプルで美しい材、特定の地域に広がる不思議な魅力もあり、関わる楽しさも原動力になります。かつて、竹林は一昔前のように生活者が活用することによって整備されていましたが、少子高齢化過疎化においては私たちのような物好きボランティアの出番も必要だと感じています。



枯死、雪害等の竹の処理作業は、本数が多すぎて極めて難儀。多くの人々の協力を必要とすることを実感した。



緑を楽しむ
ドライブ

あきたリゾートライン その2

見どころ豊富な面白ルート

105 → 285 → 103



105 北欧の杜公園 ●北秋田市

子どもから大人まで楽しめる 広大なリフレッシュ施設



広々としたつくりが魅力のキャンプ場。日帰りバーベキューもゆったりと楽しめる。



北欧の国フィンランドの木材で建てられたパークセンター。ルピナスの花は5月下旬頃から見頃。

200haに及ぶ広大な大地で、彼方に森吉山を望む県立都市公園です。園内には芝生広場やオートキャンプ場、バーベキュー広場、ドッグラン、遊具を備えた「わんぱく広場」、テニスコート、サイクリング・ジョギング・ウォーキングコースなど、子どもから大人まで楽しめる施設が充実しています。
パークセンターは公園施設利用の総合受付を行っており、館内にはファミリー向けのレストランがあります。
園内のキャンプ場はオートサイト32区画、トレーラーハウス4区画、管理棟はシャワー、洗濯機、乾燥機を備えています。テント1区画同士の間に樹木があり、間隔が広いのが好評を得ています。

- TEL 0186-78-3300 (北欧の杜パークセンター)
- 北秋田市上杉字中山沢128
- 車/大館能代空港及び大館能代空港ICから7分

285 立寄りの湯でリフレッシュ 湯ノ岱温泉 ●北秋田市



国道285号沿いにあり、シンプルで素朴そのもの。心が癒されるオススメの温泉。効能/一般適応症のほか切り傷・末梢循環障害・冷え性・乾燥肌など

- TEL 0186-66-2941 ■13:00～18:00
- 北秋田市小森字湯ノ岱67
- 車/大館能代空港から車で約15分

285 休憩・食事・観光情報に! 道の駅「ひない」 ●大館市



新鮮な農畜産物が並ぶ直売所のほか、レストランでは地元産の比内地鶏を堪能できるメニューが豊富。道路・観光情報の拠点であり、電気自動車専用の急速充電器を設置している。

- TEL 0186-55-1000
- 大館市比内町扇田字新大堤下93-11
- 車/秋田自動車道大館南ICから国道103号を鹿角方面へ約10分、国道285号を秋田方面へ約3分

103 岩神ふれあいの森 ●大館市

大館市の中央部・市街地に近い、長根山・岩神山の麓にあり、貯水池一周の散策やピクニック、数千本の桜の鑑賞などが楽しめるエリアとして親しまれています。「東北・夢の桜街道」にも選定されています。(第七十七番札所)

- TEL 0186-43-7072 (大館市商工観光課) / TEL 0186-42-4360 (大館市観光協会)
- 大館市東岩神沢32
- JR/大館駅よりバスで15分「長根山運動公園前」下車、徒歩10分
- 見頃/4月下旬～5月下旬

遊歩道を散策しながら桜を鑑賞



貯水池周囲を彩る桜



整備された広場でピクニックも楽しめる

103 大湯温泉郷 ●鹿角市

800年の歴史を誇る温泉郷の共同浴場めぐり



大湯川をはさんで共同浴場や温泉宿が点在する (中央右は荒瀬共同浴場)

約800年前に開湯したと伝わる名湯。大湯川沿いに自然湧出した温泉で、その効能と豊富な湯量から、江戸時代にはこの地を治めていた南部藩の保養温泉地に指定されていました。地元住民御用達の4軒の共同浴場や日帰り入浴施設、旅館、ホテルがありますので湯めぐりを存分に楽しむことができます。十和田湖や大湯滝めぐりの拠点に最適です。共同浴場は掛け流しの熱いお湯が常に溢れ、地元の人に愛され続けてきました。入浴にやってきた人の挨拶の音が飛び交い、その親しみやすい雰囲気は素朴な浴場とともに癒されます。早朝6時から夜9時までの営業で、どの浴場も200円。入口の券売機で入浴券を購入します。

- 車/東北自動車道十和田ICから国道103号経由、約8km

地元のひととの会話が
楽しいレトロな浴場



荒瀬共同浴場は、もともと温泉が湧いていた場所の真上に作られた貴重な「足下湧出泉」。湧きたての温泉そのものが、新鮮な状態で楽しめます。休憩室があるので休んでいくこともできます。



上の湯共同浴場は、4つの共同浴場の中でも源泉温度が高い方で加水しないと入れません。地元の方がいらっしゃる時は一言声を掛けて水を入れましょう。



入口の券売機で入浴券を購入する (写真/上の湯共同浴場)



川原の湯共同浴場



下の湯共同浴場と川原の湯共同浴場は比較的近くにあり、はしごしてみるのもおすすめです。どの浴場もかなり熱いので、無理をせず休憩しながら回りましょう。



下の湯共同浴場



生活に温泉が深く根ざしている

大湯温泉 湯めぐりマップ

※地元大切に守られてきたお湯です。入浴マナーを守って利用させていただきます。

(泉質) 無色透明、弱アルカリ性ナトリウム塩化物泉
(効能) 切傷、火傷、リウマチ、神経痛、関節痛、婦人病など

103 「比内地鶏」料理の美味しいお店 御食事処「くらみせ」 ●鹿角市

名前の通り、お店は造り酒屋の蔵を改装した隠れ家のような佇まい。「秋田県産比内地鶏ブランド」認証を取得した施設で生産された、安心・安全な「比内地鶏」を用いた料理です。親子丼、ラーメン、カレーなど抜群の美味しさです。

- TEL 0186-25-8262 ■10:00～18:00 ■定休日:日曜日
- 鹿角市十和田毛馬内毛馬内66-2 ■車/JR十和田駅から小坂方面へ約5分・十和田ICから国道103号経由で小坂方面へ約10分

あきた 緑化の足跡



植栽地は大地平農村公園として管理され、周辺には植樹された桜がスクスクと育っている。公園では「だんぶり長者まつり」をはじめ各種イベントが開催され賑わいをみせる。

平成2年6月5日 第41回秋田県植樹祭開催地 —— 鹿角市八幡平大地平

鹿角市八幡平字大地平(1.3ha)に於いて、第41回秋田県植樹祭が開催されました。

参加者は佐々木喜久治知事、杉江宗祐鹿角市長、川口博小坂町長他、1,000名です。植樹祭のメインテーマは「夢をのせて 大地に育つ緑の芽」。式典会場は鹿角観光ふるさと館「あんたらあ」。

式典では八幡平小緑の少年団によって、キジ・ヤマドリ41羽が記念放鳥されました。参加者にはコロラドトウヒ、コンクールモミなどの苗木が贈られました。

植樹された樹種は「鹿角市の木と花」ペニヤマザクラが300本、他にナナカマド200本です。

植栽地は「大地平農村公園」として管理され、生育は良好です。この公園は「湯瀬渓谷遊歩道」(4.7km)沿いにあり、広々としたグラウンド、東屋、トイレ、水道などが設置されています。バーベキューを楽しんだり、遊歩道散策の休み場としても利用されています。

湯瀬渓谷の数々の名勝を楽しみ

ながら、ぜひ訪れてみてください。



秋の湯瀬渓谷遊歩道



大地平農村公園近くの見どころ「八尺と岩道」。大岩が連続する岩道と渓流の見どころがこのあたりから始まる。



Photograph この一枚

北限のヤブツバキ 【男鹿市】

男鹿市船川港橋地区の能登山とその付近はヤブツバキが自生しており、「ツバキ自生北限地帯」という国の天然記念物に指定されています。ヤブツバキは日本固有の常緑樹で、温暖な地を好みます。なぜこの地にヤブツバキ群落があるのか、諸説ありますが、男鹿は県内でも由利の沿岸域に次いで気温の高い地域であり、それが暖地性の植物であるツバキの自生を可能にしたものと考えられています。



能登山は小径を歩いて散策できる

能登山はヤブツバキに覆われた小さな丘で散策ができます。特に南から南東側の斜面にツバキが多く自生しています。道路を隔てた反対側の丘も天然記念物に指定されており、ヤブツバキやミスナラ、イタヤなどいろいろな植物が林を形成しています。花の見頃は四月中旬前後。紅色の花が美しく咲き誇り、橋地区に春の訪れを告げます。



ヤブツバキの緑と紅の力強いコントラストが漁港に春を告げる

災害に強い安全安心な県土、安らぎの環境づくり

県土の保全で暮らしを守る



木製治山ダム工(オールウッド型)



コロット丸太伏工



ドローン活用



CADによる設計



路網調査

当社では、災害調査や森林調査でのドローンの活用を力を入れております。

当社は秋田県の森林土木事業を補完する機関として、森林の保全や林業生産の向上を図るための調査・研究、測量・設計等の業務を行っております。

一般社団法人 秋田県林業コンサルタント

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-169
TEL. 018-865-1133 FAX. 018-865-1134
http://www.akita-forest-con.or.jp/



もりのかぜ・ねっと

INFORMATION



TOPICS

県緑化推進委員会の主な事業

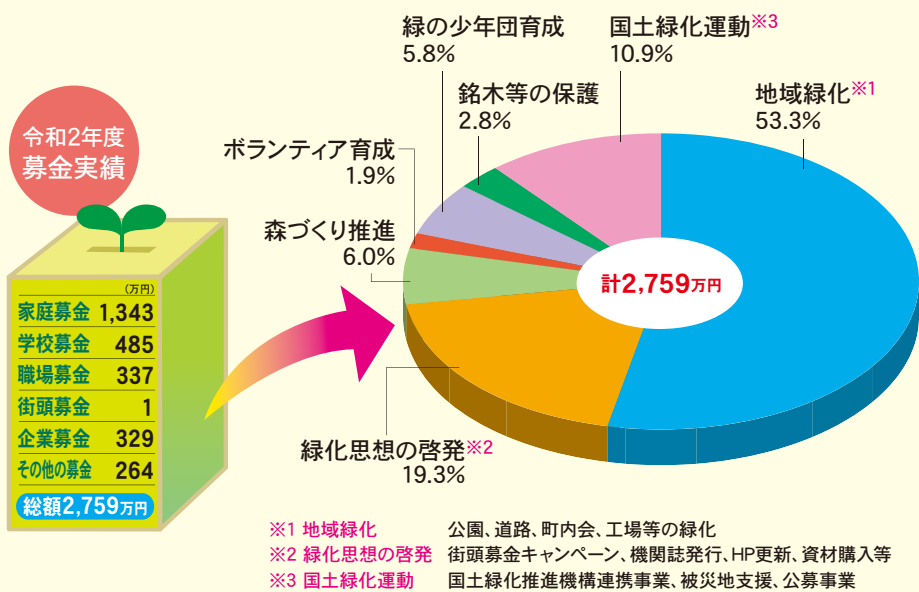


「緑の募金」運動の推進 緑の募金運動を広く展開し、寄せられた善意を主な原資として次のような事業を推進しています。

- **地域緑化活動の推進**
市町村等が行う緑化イベントへの支援
- **緑化思想の啓発**
チラシ、看板、キャンペーン、機関誌発行、緑化関係表彰
- **県民参加の森づくり推進**
森林祭等開催、市民グループ森づくり活動支援
- **森林ボランティア育成**
ボランティア活動支援、リーダー養成
- **緑の少年団等育成**
交流集会、学校緑化コンクール、学校緑化活動支援、子供木づかい体験
- **名木・古木等の保護**
診断、調査の支援
- **国土緑化運動**
国土緑化推進機構連携事業、緑と水の森林ファンド活用事業

※秋田県緑化推進委員会は、国土緑化推進機構・各都道府県緑化推進委員会と連携し、緑の募金による東日本大震災・熊本地震被災地のみどりの再生支援を行っています。

緑の募金は、このように活用されました！



ダイドードリンコ(株)では、環境貢献として飲料自動販売機による「緑の募金」活動に協力しております。

「緑の募金自販機設置」のお願い

新規設置の自動販売機が対象です。設置、ご紹介の協力をお願いします。

目印はこのパネル!!

この自動販売機の収益金の一部は、「緑の募金」に寄付されます。



もりのかぜ

Vol.13

編集・発行

令和3年8月31日(火)発行

公益社団法人 秋田県緑化推進委員会
〒010-0941
秋田市川尻町字大川尻170-169 森林環境会館内
TEL 018-883-0815 FAX 018-883-0816
[Eメール] akiryoku@estate.ocn.ne.jp
URL <http://akiryoku.ec-net.jp/>

制作
有限会社 パレア

〒010-0942 秋田市川尻大川町2-8
TEL018-896-7225 FAX018-883-0004

編集後記

日本列島がオリンピック・コロナ・熱波で炎上している最中、一つのニュースが世界を駆け抜けた。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は地球温暖化の原因を「人間の活動」と断定し、世界の平均気温が今後20年足らずで1.5℃を超えて高くなる見方を示したのだ。わずか0.5℃の上昇で高温や大雨などの異常気象が顕著になるという。今起こっている熱波や洪水の規模からして、プラス1.5℃ともなればどんな災害となるのだろうか。すでにみなさんお気づきと思うが、私たち一人一人がそれぞれの立場で行動を起こす時期に来ている。願わくは取り組むべき具体策を早急に示してほしい(T.K.)

みんなが森林の応援団!! 緑の募金

への協力と森林づくりへの参加をおねがいます。
■緑の募金は、地域の環境緑化活動や森づくり活動への支援に使われます。



いつでも どこでも 振込でも
募金強調期間

春季 4月10日～ 5月31日
秋季 9月 1日～ 10月31日

実施主体 / (公社) 秋田県緑化推進委員会
市町村・市町村緑化推進委員会

緑の募金でふせごう地球温暖化

ふるさと秋田の「水」と「緑」を体感する — 令和3年度秋田県緑の交流集会 —

本集会は、子どもたちに自然の中で生き抜く力や環境の大切さを学んでもらうことを目的に、毎年秋田県(森林整備課)との共催で実施しているイベントです。例年、夏休み期間中に一泊二日で行っていましたが、新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し、今年は「日帰り」での実施としました。参加してくれたのは秋田市内の児童生徒24名で、引率やスタッフを合わせて総勢56名が集まり、秋田市雄和地区において午前中はカヌー(雄物川)、午後は散策とレクリエーション(高尾山)を体験しました。

8月7日、朝から強い日差しが照りつけ、熱中症アラートが発令される中、カヌーの出発地である「種沢船着き場(秋田市雄和種沢)」に集合しました。開会式で「今日一日がんばろう、おう!!」の掛け声の後、NPO法人秋田パドラーズの皆さんからカヌーの乗り方について教えていただきました。「川に落ちたら泳がず、空を見上げてください(救命胴着を着けているので沈みません)」という説明に、みんな安心したようです(特に泳げない子)。さっそく、二人一組になってパドルで漕ぎ出し、およそ2時間(5km)のクルージングを満喫しました。

昼食は高尾山荘の広場で、みんなでおいごり弁当です。ここはとても見晴らしが良く、奥羽の山並みや仙北平野、そして雄物川が蛇行する田園風景が一望でき、涼風が暑さを忘れさせてくれる素敵ランチタイムとなりました。

午後は、信仰と伝説の山である高尾山(383m)を周回するコースに

挑戦です。森の案内人を講師として6班に別れ、神社の由来やマザーツリー(ブナ)の生態など、たくさんのことを教えていただきました。散策は、樹齢の高いスギや広葉樹の樹陰下を歩くルートでしたが、気温が高いため水筒が空になる子が続出し、スタッフがスポーツドリンクの給水に奔走する場面もありました。

閉会式では、主催者から「みんなの頑張り」に対してお褒めの講評があり、児童生徒3名からは、それぞれに思い出に残る「ふりかえり」が述べられました。一日をフルに使って「川」と「山」を体験するのは、子どもたちにとってハードでしたが、得たものはそれ以上に大きかったのではないかと思います。水辺の心地よさ、登りのきつさ、暑さ、そしてみんなで乗り越えた達成感、そんな記憶に残る集会となりました。



カヌー体験：自由にスイスイ、水辺は楽しいな



散策：高尾山神社の由来などを教えてもらう



閉会後に参加者全員でパチリ! 雄物川・仙北平野・奥羽山脈を背景に

▲緑の交流集会の様子は「モリエール秋田」のHPをご覧ください。 <http://www.forest-akita.jp/data/school-2021/school-07/school-07.html>



だから、安心です!!

JAS製材品は、品質・性能が明確!!

JASは 安心の証明マーク

木造建築物には、
JAS製材品を使いましょう。

JAS製材品は、品質・性能を明らかにして出荷された製材品です。この製品は、「日本農林規格等に関する法律」(JAS法)に基づき認証されたJAS工場で品質管理及び格付のための検査・試験を行い消費者の皆様を提供されており、安心してお使いいただけます。

お問い合わせは

秋田県木材産業協同組合連合会

〒010-0003 秋田県秋田市東通二丁目7-35
TEL:018-837-8091/FAX:018-837-8093
<http://a-mokuren.jp>